

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-33999

(43)公開日 平成9年(1997)2月7日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 03 B 17/02  
17/56

識別記号 庁内整理番号

F I  
G 0 3 B 17/02  
17/56

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 5 O.L. (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平7-189081

(22)出願日 平成7年(1995)7月25日

(71)出願人 000004112

株式会社ニコン

東京都千代田区丸の内3丁目2番3号

(72)発明者 小谷 徳康

東京都千代

株式会社ニコン内

(22)發明者 伊藤 季樹

伊藤秀樹

東京都千代田区

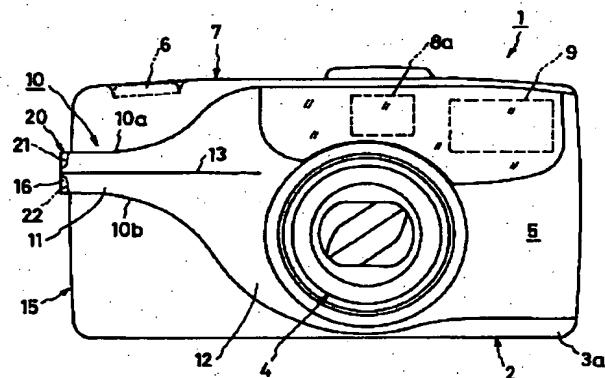
内少主三三要式

(54) 【発明の名称】 カメラ

(57) 【要約】

【課題】 カメラ外観を意匠的にすっきりした形状とし、かつ撮影者のホールド感を高め、また携帯用ストラップを簡単に体裁よく取付け可能とする。

【解決手段】 カメラ本体2の前面部5でレリーズ釦6に近い側の一側部から中央付近の撮影レンズ部4の周囲にかけて帯状に膨出する膨出部10(11, 12)を設ける。この膨出部の上、下縁部10a, 10bを、前面部中央付近では撮影レンズ部の周囲に回り込むように形成する。また、この膨出部を、レリーズ釦側の側面部15にかけて帯状膨出部16として延長させて設ける。膨出部の下縁部を、カメラ本体の底面部から三本程度の指え把持できる程度の長さをおいて位置させる。前記側面部の帯状膨出部に、上、下縁部を貫通するストラップ通し穴21, 22を設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 カメラ本体の前面部中央付近に撮影レンズ部を、かつ上面部の一側寄りの部分にレリーズ釦を有するカメラにおいて、前記カメラ本体における前面部で前記レリーズ釦に近い側の一側部から前記撮影レンズ部の周囲にかけて膨出する膨出部を備えたことを特徴とするカメラ。

【請求項2】 請求項1記載のカメラにおいて、カメラ本体における前面部でレリーズ釦に近い側の一側部から撮影レンズ部を有する中央付近にかけて帯状に膨出する膨出部を備え、かつこの膨出部の上、下縁部を、前記カメラ本体の前面部で前記撮影レンズ部の周囲に回り込むように形成したことを特徴とするカメラ。

【請求項3】 請求項1または請求項2記載のカメラにおいて、カメラ本体における前面部でレリーズ釦に近い側の一側部から前記撮影レンズ部の周囲にかけて膨出する膨出部を、前記カメラ本体のレリーズ釦に近い側の側面部に帯状に延長して形成したことを特徴とするカメラ。

【請求項4】 請求項1、請求項2または請求項3記載のカメラにおいて、膨出部の下縁部を、撮影者がカメラ本体を底面部から少なくとも三本の指で把持できる程度の長さをおいた位置に設けたことを特徴とするカメラ。

【請求項5】 請求項3または請求項4記載のカメラにおいて、カメラ本体のレリーズ釦に近い側の側面部に膨出させて形成した帯状膨出部の一部に、上、下縁部を貫通するストラップ通し穴を形成したことを特徴とするカメラ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はたとえばコンパクトカメラのようなカメラに関し、特にカメラの外観を意匠面からすっきりとさせるとともに、カメラを構える際のグリップを確実に行なえ、さらにカメラの携帯時に用いられるストラップのカメラ本体での取付部を備えているカメラに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 たとえばコンパクトカメラにあっては、商品価値を高めるためにカメラの外観を、意匠的にすっきりとした形状で形成し、しかもカメラ本体の大きさを可能な限りコンパクトに構成することが望まれる。また、このようなカメラにおいて、カメラの外観を決定するには、撮影者がカメラを構えたときにカメラ本体をグリップし易い形状とすることを配慮することも必要である。そして、このような要請に応えるために従来から種々の形状、構造を有するカメラが提案されている。

【0003】 また、このようなカメラの外観を決定するうえでは、カメラを肩、首等に吊り下げて携帯する際に

用いられるカメラ用ストラップと呼ばれる吊り下げベルト(以下、ストラップという)の取付部にも注意を払うことが必要である。すなわち、このようなストラップは、カメラ本体の側面部や前面部の側端部に設けたストラップ取付部としての取付具に対し、ストラップを適宜の接続具を介して、あるいはストラップのループ状とした部分を直接、引っ掛け、掛け止めすることで付設される。このストラップ取付部として、たとえば実開昭57-190533号公報、実開昭57-84535号公報、実開昭56-30698号公報に示す構造が知られている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、従来から知られているカメラでは、カメラの外観が意匠的にすっきりしたものであって、しかもカメラを構える際に確実にグリップすることができるように構成するにあたって、改良の余地が残されており、より一層の改良を図ることが望まれている。特に、カメラの外観形状をデザイン面で優れているとともにカメラを構えた際のグリップがし易いように配慮することについて、何らかの対策を講じることがカメラの性能アップや小型化、さらにコスト低減とともに必要とされている。

【0005】 また、このようなカメラの外観形状を改良するうえで問題となることに、ストラップ取付部構造がある。すなわち、従来の構造のようにストラップを接続具を介して間接的に、あるいはループ状部による直接組付ける取付具を、カメラ本体の側面部等に一体または一體的に突出して設けると、カメラの収納時にカメラケースとの間で邪魔となるばかりでなく、カメラの外観上で意匠的に見苦しいという不具合がある。さらに、上述した突出している取付具では、撮影者の指や手が触れ、邪魔となるという不具合もある。

【0006】 また、ストラップ取付部として、カメラ本体表面を覆うカバーの一部にストラップ通し穴を設け、カメラ本体内を通してストラップの取付けを行なうことも考えられている。しかし、このような構造では、カメラカバーに形成した通し穴が、カメラの外観の意匠面で悪影響を及ぼすばかりでなく、この通し穴により差し込まれるストラップを通すスペースを、カメラ本体内に形成しなければならない。そして、これによるカメラ本体内でのスペースの減少は、カメラの設計、特にカメラ内への各種組込み部品の配置、レイアウト等の自由度が小さくなり、実用面から問題であり、このような点を配慮し何らかの対策を講じることが必要となる。

【0007】 本発明はこのような事情に鑑みてなされたものであり、コンパクトカメラにおいて、カメラの外観を意匠的にすっきりしたものとし、しかも撮影者がカメラを構えるためにグリップしたときにカメラ本体を確実に把持できるようにし、またカメラ携帯用のストラップを簡単にしかも体裁よく取付けることが可能なストラッ

ブ取付構造を採用することができるカメラを得ることを目的としている。

#### 【0008】

【課題を解決するための手段】このような要請に応えるために本発明に係るカメラは、カメラ本体の前面部で本体上面部の一側寄りに設けたレリーズ釦に近い側の一側部からこの前面部中央附近に設けた撮影レンズ部周囲にかけて膨出する膨出部を設けており、この膨出部を帯状に形成するとともにその上、下縁部をカメラ本体の前面部で撮影レンズ部の周囲に回り込むように形成している。

【0009】また、本発明に係るカメラは、カメラ本体における前面部でレリーズ釦に近い側の一側部から中央附近の撮影レンズ部の周囲にかけて膨出する膨出部を、カメラ本体でのレリーズ釦に近い側の側面部に帯状に延長して形成している。そして、この側面部に延長して形成した帯状の膨出部の一部に、上、下縁部を貫通するストラップ通し穴を形成している。

【0010】また、本発明に係るカメラは、上述した膨出部の下縁部、特にカメラ本体の前面部で本体上面部の一側寄り部分と側面部に設けた膨出部の下縁部を、撮影者がカメラ本体を底面から少なくとも三本の指で把持できる程度の長さをおいた位置に設けている。

【0011】本発明によれば、カメラ前面部で一側寄りから中央付近の撮影レンズ部周囲にかけて帯状および徐々に幅拡となる形状をもって膨出する膨出部によって、カメラ前面部にアクセントを付け、カメラの外観を意匠的にすっきりした形状に形成することができる。

【0012】特に、本発明によれば、上述したようにデザイン面での機能を發揮できる膨出部、特にカメラ本体の前面部で本体上面部の一側寄り部分と側面部に設けた膨出部の下縁部を、撮影者がカメラ本体を底面から少なくとも三本の指で把持できる程度の長さ、たとえば30mm程度の長さをおいて位置付けており、この膨出部よりも下側のカメラ本体の一側部寄りを撮影時に撮影者が構えるためにグリップすると、前記膨出部の下縁部に指が引っかかり、すべり止め機能をもたせることができ、カメラ本体の把持が確実に行なえる。

【0013】また、本発明によれば、上述したような意匠面で機能する膨出部の側面部に設けた帯状部分に、上、下縁部を貫通してストラップ通し穴を設けており、カメラ内での部品組込みスペースの有効活用を図れ、設計上での自由度が増すとともに、カメラの外観を損なうこともない。

【0014】前記カメラ本体とは、たとえばコンパクトカメラにおけるカメラ本体の外側を覆うカメラカバーを含み、前記膨出部はこのカメラカバーに一体に形成されている。しかし、これに限定されず、このカバーがカメラ本体に一体に形成されている場合にも本発明を実施することができる。また、前記ストラップ通し穴を形成し

た膨出部は、その内部が中空状に形成され、この内側空間をストラップ挿通部として利用している。

【0015】さらに、前記カメラ本体の前面部、側面部における膨出部の上、下縁部を、カメラ本体の表面からならかな湾曲面によって膨出するように形成したものを含む。特に、膨出部の下縁部で撮影者が指が当たる部分をならかな湾曲面で形成すると、グリップ時のホールド感が良好である。また、このような膨出部のカメラ本体表面からの段差は、カメラ本体の前面部において、たとえば一側部から中央付近に至るにしたがって、カメラ本体側の表面全体の膨出により縮小する構造のものを含む。

#### 【0016】

【発明の実施の形態】図1ないし図4は本発明に係るカメラの一つの実施の形態を示し、これらの図において、まず、本発明を適用したコンパクトカメラ1の概略を説明する。すなわち、図1および図2中符号2はこのカメラ1のカメラ本体で、このカメラ本体2の表面は金属製あるいは合成樹脂製によるカメラカバーによって覆われる。ここでは、このようなカメラカバーを含めた全体を、カメラ本体2として説明する。なお、図中3aはカメラカバーを構成する前カバー部、3bは後カバー部、3cは底カバー部で、さらに3dは電池室を開じる電池蓋である。

【0017】4はカメラ本体2の前面部5（図1に図示した部分）で中央付近に設けた撮影レンズ部で、図示しないが撮影レンズを有するレンズ鏡筒やこの鏡筒前端部でレンズ面を開閉するレンズバリア等によって構成されている。このような撮影レンズ部4としては、ズーム式の撮影レンズを有するもの、レンズ鏡筒をカメラ本体内に沈胴させることができる沈胴式のもの等、適宜の構造を有するものを採用すればよい。

【0018】6はカメラ本体2の上面部7で一側寄りの部分に押圧操作可能に露呈して設けたレリーズ釦である。また、8aはカメラ本体2の前面部5で上部中央付近に設けたファインダ窓、9はこれに隣接して他側寄りに設けたストロボ発光部であり、さらに図2中8bは前記ファインダ窓8aに対応してカメラ本体2の背面部に設けたファインダ接眼窓である。なお、この実施の形態では詳細な図示および説明を省略したが、カメラ1として必要な構成部品や組込み機構部等は適宜付設されることは勿論である。

【0019】本発明によれば、カメラ本体2の前面部5で本体上面部7の一側寄りに設けたレリーズ釦6に近い側の一側部（図1中左側）からこの前面部5の中央付近に設けた撮影レンズ部4の周囲にかけて膨出する膨出部10を、図1～図3に示すように、カメラ本体2を構成するカメラカバーの一部に一体に設けている。

【0020】ここで、この膨出部10は、カメラ本体2の前面部5において左側の側端部での上下方向の下から

三分の二程の位置から中央に向って帯状に延設されるとともに徐々に幅拡となる形状をもって形成され、前面部5の中央付近で上、下縁部が撮影レンズ部4の周囲に回り込むような形状で形成されている。図中11はカメラ本体2の前面部5の一側寄り部分に形成されている帯状の膨出部、12はこの帯状膨出部11の先端から徐々に幅拡となって撮影レンズ部4に至る幅拡膨出部である。なお、図中13は膨出部10(11, 12)の幅方向の中央に意匠面から形成した切り込みである。

【0021】このような構成によれば、カメラ前面部5で一側寄りから中央付近の撮影レンズ部4の周囲にかけて帯状および徐々に幅拡となる形状をもって膨出する膨出部10(11, 12)によって、カメラ前面部5にアクセントを付け、カメラの外観を意匠的にすっきりしたものとすることができます。

【0022】また、このカメラ本体2の前面部5における膨出部10(11, 12)の上、下縁部10a, 10bを、図2および図3に示すように、カメラ本体2の表面からなだらかな湾曲面によって膨出するように形成している。特に、このような膨出部10(11, 12)の下縁部10bで撮影者が指が当たる段差部分(図6参照)をなだらかな湾曲面で形成すると、グリップ時のホールド感が良好である。

【0023】ここで、上述した膨出部10の上、下縁部10a, 10bは、図3に示すように傾斜しており、たとえば図2では帯状部分を強調して描いているが、この膨出部10は、図1に示したカメラ本体2の前面部5において、カメラ本体2の中央寄りで本体の上、下部に接近している幅拡部分になるほど、帯状部とその他の部分(本体前面部5の表面)との段差がなくなるように形成されている。換言すれば、上述した膨出部10(11, 12)のカメラ本体2の外表面からの段差は、図5に示すように、カメラ本体2の前面部5において、たとえば一側部から中央付近に至るにしたがって、カメラ本体2側の表面全体の膨出により縮小するように形成されている。

【0024】ここで、本発明によれば、上述した膨出部10(11, 12)の下縁部10b、特にカメラ本体2の前面部5で本体上面部7の一側寄り部分に設けた膨出部11の下縁部10b部分を、撮影者がカメラ本体2を底面から少なくとも三本の指で把持できる程度の長さ、たとえば30mm程度の長さをおいた位置に設けている。

【0025】このような構成によれば、カメラ本体2の一側部寄りで帯状膨出部11よりも下側部分を、図6に示すように、撮影時に撮影者がカメラを構えるためのグリップ部とし、この部分をグリップすると、上述したように意匠面で機能する膨出部10のうちの帯状膨出部11の下縁部10bに指が引っかかり、すべり止めとしての機能をもたらせることができる。したがって、このよう

な構成では、撮影者は三本の指でカメラ本体2を安定して確実に把持することができ、ホールド感もよい。

【0026】また、上述したカメラ本体2における前面部5でレリーズ釦6に近い側の一側部付近で膨出している帯状膨出部11を、図1～図5に示すように、カメラ本体2でのレリーズ釦6に近い側の側面部15に帯状膨出部16として延長して形成している。このような帯状膨出部16を設けることにより、図1に示すように、前述した前面部5での膨出部10に加えて、カメラの外観上で意匠をよくすることができる。なお、この側面部15での帯状膨出部16の上、下縁部16a, 16bも、前述した前面部5程ではないが、若干湾曲している面によってカメラ本体2の外表面から立ち上がるよう形成し、意匠面や撮影者の指、手等の当たりが良好となるようにしている。

【0027】そして、本発明によれば、この側面部15に延長して形成した帯状の膨出部16の一部に、上、下縁部16a, 16bを貫通するストラップ通し穴21, 22を形成し、ストラップ取付部20を設けている。

【0028】このようなストラップ取付部20によれば、上述した意匠面で機能する側面部の帯状膨出部16を利用し、ストラップ通し穴21, 22を設けているので、図4に示すようにカメラ携帯用のストラップ23を簡単に挿通させ、このストラップ23をカメラ本体2の一部に簡単にしかも体裁よく取付けることができる。また、このようなストラップ取付部20では、従来のようにカメラの外部に必要以上に突出する取付具は不要であり、カメラ収納時にカメラケースとの干渉で邪魔となったり、意匠面から見苦しいということもない。さらに、撮影者の指、手等が接触する邪魔な部分もなく、取扱いの面から有利である。

【0029】特に、上述した構成では、図4に示すように、カメラ本体2を構成するカメラカバーの一部に形成している膨出部16の内側空間24を、上述したストラップ23の挿通部として利用しており、カメラ本体2の本体部または内蔵部品25のスペースと干渉しないため、従来のようにカメラ内での部品収納空間を減少させるようなことはなく、その結果カメラ内への各種組込み部品の配置、レイアウト等の自由度が大きくなり、カメラ内での部品組込みスペースの有効活用を図れ、設計上での自由度が増すとともに、カメラの外観を損なうこともない。

【0030】ここで、上述した帯状膨出部16の上、下縁部16a, 16bに形成したストラップ通し穴21, 22は、その穴開口縁をストラップ23が擦れることにより傷つけたりしないような形状で形成するとよい。

【0031】なお、本発明は上述した実施の形態で説明した構造には限定されず、カメラ1全体を含めた各部の形状、構造等を適宜変形、変更できることは勿論である。たとえばカメラ本体2の側面部15でのストラップ

取付部20を構成するストラップ通し穴21, 22の形状や付設位置を始め、カメラ1の種類や構造等についても種々の変形例が考えられる。

【0032】

【実施例】カメラ本体2の前面部5でレリーズ釦6に近い側の一側寄りの部分とカメラ本体2の側面部15とに形成する帯状膨出部10(11), 16を、カメラ本体2の底面から少なくとも30mm以上離れて形成している。これは、撮影者がカメラ本体2をグリップしたときに、指三本で帯状膨出部11, 16よりも下側のカメラ本体2の外表面を把持できる程度の長さに相当する。

【0033】

【発明の効果】以上説明したように本発明に係るカメラによれば、カメラ本体の前面部で本体上面部の一側寄りに設けたレリーズ釦に近い側の一側部からこの前面部中央付近に設けた撮影レンズ部周囲にかけて膨出する膨出部を設け、またこの膨出部を帯状に形成するとともにその上、下縁部をカメラ本体の前面部で撮影レンズ部の周囲に回り込むように形成しているので、簡単な構成であるにもかかわらず、以下に述べる優れた効果を奏する。

【0034】すなわち、本発明によれば、上述した膨出部の下縁部、特にカメラ本体の前面部で本体上面部の一側寄り部分と側面部に設けた帯状膨出部の下縁部を、撮影者がカメラ本体を底面から少なくとも三本の指で把持できる程度の約30mm以上の長さをおいた位置に設けており、カメラ本体の一側寄りで前述したようにデザイン面での機能を発揮する帯状の膨出部よりも下側部分を、撮影時にカメラを構える際のグリップとして利用することができ、撮影者は三本の指でカメラ本体を安定して確実に把持することができ、ホールド感もよい。

【0035】特に、本発明によれば、カメラ本体の前面部で本体上面部の一側寄り部分と側面部に設けた帯状膨出部の下縁部を、撮影者がグリップしたときの指の引っかかりとして利用でき、この指のすべり止めとして機能させることができ、カメラを確実に把持するうえで効果を発揮することができる。

【0036】また、本発明によれば、カメラ前面部で一側寄りから中央付近の撮影レンズ部周囲にかけて帯状および徐々に幅拡となる形状をもって膨出する膨出部や、これに連続してカメラ本体でのレリーズ釦に近い側の側面部にまで帯状に延長している膨出部によって、カメラ前面部や側面部にアクセントを付け、カメラの外観を意匠的にすっきりした形状で形成することができる。

【0037】また、本発明によれば、カメラ本体におけるレリーズ釦側の側面部に延長して形成した意匠面で機能する帯状の膨出部の一部に、上、下縁部を貫通するストラップ通し穴を形成しており、カメラ携帯用のストラップを簡単にしかも体裁よく取付けることができ、さらにカメラ内での部品組込みスペースの有効活用を図れ、設計上での自由度が増すとともに、カメラの外観を損なうこともない。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明を適用したカメラの一つの実施の形態を示し、カメラを前面から見た正面図である。

【図2】 図1のカメラにおいて、側面から見た側面図である。

【図3】 本発明の要部とする帯状膨出部およびこれに設けたストラップ通し穴を説明するためにカメラの外観の一部のみを示す斜視図である。

【図4】 カメラ本体の側面部に形成したストラップ通し穴を示す要部のみを拡大した断面図である。

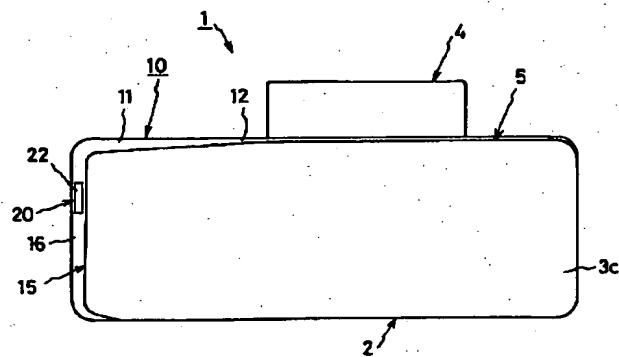
【図5】 図1のカメラを底面から見た底面図である。

【図6】 図1のカメラを撮影のためにグリップして構えた状態を説明するための概略図である。

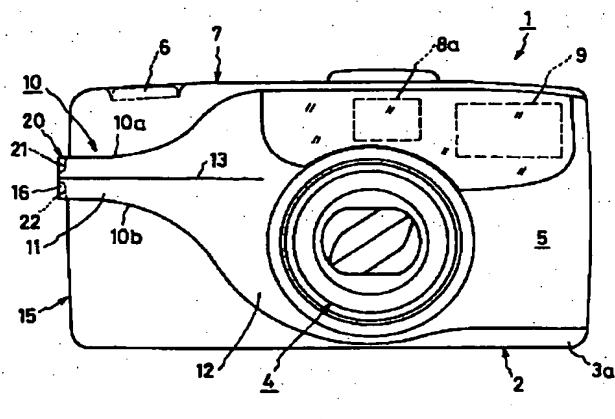
【符号の説明】

1…コンパクトカメラ、2…カメラ本体、4…撮影レンズ部、5…前面部、6…レリーズ釦、7…上面部、10…膨出部、10a, 10b…上、下縁部、11…帯状膨出部、12…幅拡膨出部、13…切り込み、15…側面部、16…帯状膨出部、20…ストラップ取付部、21, 22…ストラップ通し穴、23…ストラップ、24…内側空間。

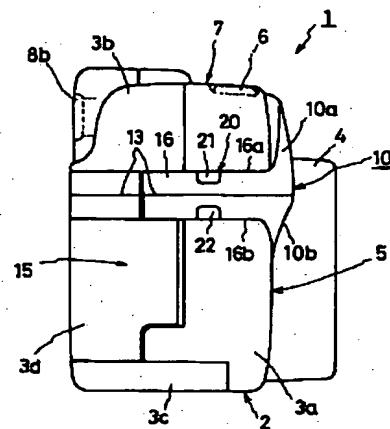
【図5】



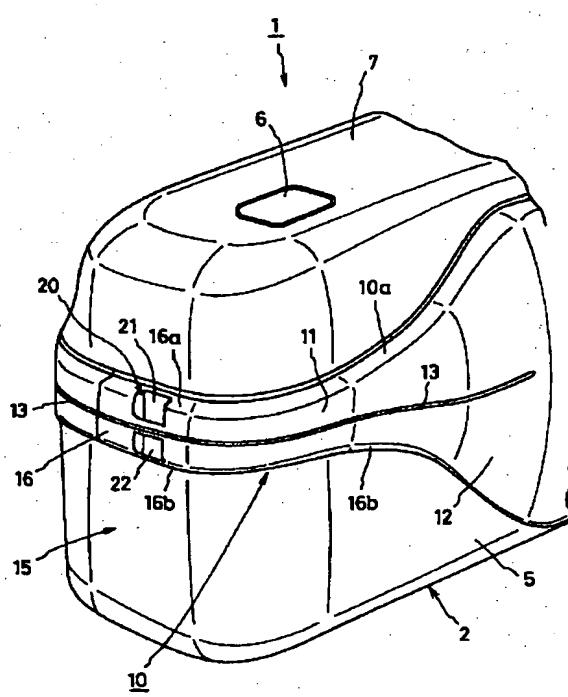
【図1】



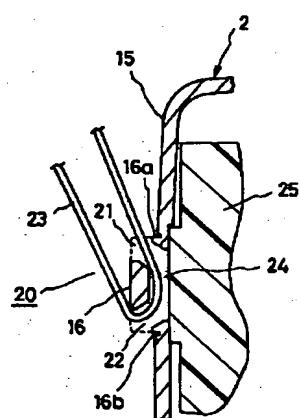
【図2】



【図3】



【図4】



【図6】

